

項目	内容
名称	カナンガ油 [英]Cananga Oil [学名]Cananga odorata forma. macrophylla
概要	カナンガは、イランイランノキ属の植物であり、インドネシアのジャワをはじめとする熱帯地方が主な栽培地である。カナンガの花からとれる精油はカナンガ油と呼ばれ、香料として加工食品や化粧品に利用されている。カナンガ油と類似した精油であるイランイラン油 (Cananga odorata forma.genuina) はカナンガと同じ品種に由来するが、形態は異なる。
法規・制度	■ 食薬区分 「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料) 」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料) 」にも該当しない。 ■ 海外情報 ・米国では、GRASに該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・β-カリオフィレン、ベンジルアセテート、ベンジルアルコール、ファルネソールなどを含む (23)。
分析法	・花から抽出した精油に含まれる揮発性芳香成分 (β-カリオフィレン、ファルネソールなど) をGC/MSで分析した報告がある (PMID:18400225)
	有効性

循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
ヒト生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
で脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
の免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第1版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳 (23)天然食品・薬品・香粧品の事典 朝倉書店 小林彰夫ら 監訳 (PMID:18400225) J Chromatogr A. 2008 May 30;1192(2):306-18.